

今週のセルグループ(赤字)			8月21日(日)~8月27日(土)	
セル	次回の日時	場所	人数	前回の証しなど
リバイバル 北山姉		LINE 電話	1/26 名	中止
グレイス 鈴木千姉	9/2(金) 午後8:45	鈴木宅	8/5 3名	今苦しくても、解決は必ずあると(昔の恵みを)思い起こし、心が軽くなった。
Gospel 鈴木尚姉	9/3(土) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	8/13 2名	「砕かれなさい」ということだった。本気で一生懸命やろう、という思いに変わった。
オikos 磯貝姉		LINEで 分かち合い	8/14 6名	聖会に参加してメッセージに励まされ、楽しい時間を過ごすことができました。
からし種 磯貝姉	8/25(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	8/4 4名	必要があるから起こされていることと心の向きを変えて感謝するように過ごしています。
ユース 岩下兄	8/21(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	8/7 5名	神様から離れると心は暗くなりむなしくなる。みことばに飢え渴きました。
Rock 鈴木洋兄	8/24(水) 午後8:30	鈴木宅	8/9 3名	「砕かれて変わって来たね!」と。愚直な信仰の姿勢を貫いて行きたいと決意した。
シャローム 平岩姉	8/27(土) 午前10:00	平岩宅	8/6 3名	ありのまま神様の言うことを聞いて進んでいけばいい。明け渡し、信頼しなさい。
なつめやし 高橋智姉	8/21(日) 練習後	高橋宅	8/7 5名	食事の交わりをして、聖会参加の祝福をお祈りしました。
リジョイス 杉本姉	9/6(火) 午前10:15	LINEで 分かち合い	8/9 3名	信じない心は暗くなり虚しくなっていく。主人の救いを切に祈り求めなさいと迫られた。
ジョイフル 穂苅兄	8/25(木) 午前10:30	Zoomで 分かち合い	8/7 7名	食事の交わり
アガベ 長塚姉	8/28(日) 練習後	コミュニ イセンター	8/14 4名	聖会の恵を分かち合い、食事の交わりをしました。
サクセス 鈴木勝兄	8/21(日) 礼拝後	コミュニ イセンター	7/24 18名	まさか宇宙や地球など科学の話が出るとは思わなかったのが驚いた。弁解の余地がない。
リーダーズ セル	9/14(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	7/13 25名	指摘するのではなく、気づいて方向を変えるきっかけが与えられるよう祈ってあげる。
セル研修	休講			
ビジョン 平岩恵兄	8/21(日) 午後2:30	Zoomで 分かち合い	8/7 名	中止
worship 長塚寛兄	8/28(日) 礼拝後	コメダ	8/14 6名	切り上げた金額を用意して、信仰を持って献げることが出来た。
高校生 平岩姉	8/21(日) 午前9:00	コミュニ イセンター	8/7 6名	部活、きついけど、頑張ってる!一緒に帰る友達の無事も、祈ってる。
中学生 梅田姉	8/21(日) 午前9:00	コミュニ イセンター	8/7 6名	勉強の方法を試したし、勉強って思ってた出来なかった。祈りが先で気付かされた。
キッズ2 小山姉	8/21(日) 午前9:00	コミュニ イセンター	8/7 3名	逆境の日に神様を見上げるという事を教えられた。
キッズ1 芳井姉	8/21(日) 午前9:00	コミュニ イセンター	8/7 4名	僕はいつも神様のことを忘れないでいて、感謝して、礼拝して、神様の光の中にいたい。
Shine 小原姉	8/28(日) 午後4:30	小原宅	8/14 8名	交わりをしました。
ギデオン 芳井兄	8/27(土) 午後6:30	芳井宅	7/23 3名	詩篇4:4で示された通り床の中で祈らされた。そうすると主が私に共におられる。
カルバリ 野田兄	9/6(火) 午前9:00	野田宅	7/19 6名	怒りが心の中にある。これが、神様に対しての不機嫌であると教えられたことを感謝。
神の家族 伊岐見真姉	8/29(月) 午後8:30	LINEで 分かち合い	8/15 名	セルリーダーのためにお祈りください。

礼拝奉仕	聖日礼拝		祈祷会			
	司会	奏楽		奏楽		
今週	8/21(日)	I		8/25(木)	鈴木尚姉	
		II				
来週	8/28(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	9/1(木)	鈴木千姉
		II	大高愛姉	岩下渚姉		

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶家族知人をキリストへ
 - ▶教会近隣の人々の救い
 - ▶東海地方の救いのために
 - ▶日本の救いのために
 - ▶世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶バイブルスタディの働き
 - ▶リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶リバイバルマmazの働き
 - ▶那古野アウトリーチの働き
 - ▶祈祷会の祝福
 - ▶日曜礼拝の祝福
 - ▶牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈祷会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷 (土曜)	午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1412

2022年8月21日(日) 発行 8月第3週

私たちのビジョン (使徒の働き11:21) **宣教** 主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)
開始 11時 (第二礼拝)

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めてのの方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコインロームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コインロームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **[平安]** 志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。(イザヤ書 26章 3節)



「ローマ4：19-21 彼は、およそ百歳になり、自分のからだですでに死んだも同然であること、またサラの胎が死んでいることを認めても、その信仰は弱まりませんでした。不信仰になって神の約束を疑うようなことはなく、かえって信仰が強められて、神に栄光を帰し、神には約束したことを実行する力がある、と確信していました。」

「ピンチはチャンス」

今、夏の高校野球が開催されています。各都道府県の代表校が集まって日本一を決める大会ですが、一試合でも負ければその時点で終わりです。選手たちにとっては、毎試合が真剣勝負です。高校野球は、観る人をひきつける魅力があります。それは、暑さの中でプレーする選手たちの表情が真剣そのもので、たとえいくら点差をつけられようとも、決して最後まであきらめることなく全力でプレーする姿に心を動かされるからだだと思います。

先日、愛知県の代表校、愛工大名電高校が出場していました。試合は1-1の緊迫した状況から、5-1と4点差をつけられます。流れは完全に相手チームにありました。さらにピンチが続く中でピッチャーが代わります。すると、続くバッターを抑えて守り抜きました。彼の好投によって試合の流れが一気に変わりました。

情けないじゃないか。」と語りかけてきます。それに対して、「いや、私はそんな弱い人間じゃない。ちゃんと信仰はあるんだ。」と反論し、心の中でずっと見えない敵との戦いを繰り返していたりすることはないでしょうか。

信仰は、逆境の中でかえって強められる

私たちは、逆境の中で「主の約束は必ず成る」という信仰に立たなくてはなりません。信仰は、逆境の中で明らかになります。目に見える現状に打ちのめされてしまうのか、それとも、その中で主を見上げて、信仰によって立ち上がることができるのが明らかになるのが、逆境の時です。

アブラハムは100歳になり、妻のサラも90歳と高齢で、常識的には子どもを産むということはとても考えられないことでした。月日が経つに連れ、目に見える状況は絶望的でした。しかし彼の信仰は弱まることなく、かえって強められて行きました。それは、常識では不可能であろうということを十分認めた上で、神はその常識を超えて働かれるお方で、「神には約束したことを実行する力がある」と確信していたからでした。

私たちが愛することを学ばされるのも、愛せない状況に置かれる時ではないでしょうか。私も、日々主からのチャレンジを受けています。イライラしている時、言い争いになったりすると、怒りが湧いてきて、愛することなどできなくなります。それは私の高ぶりが砕かれ、愛することを訓練させられる場となります。関

た。すると今度は名電の攻撃になり、得点を重ね、ついに同点に追いつきます。そして最後は逆転勝ちをおさめました。野球に限らず、どのスポーツでも試合の流れは、どこでどう変わるかまったく分かりません。恐らく彼はピンチの中で、「必ずこのピンチを乗り切ることができる」と信じていたと思います。「もうダメかもしれない。打たれたら終わりだ。」という思いがよぎるその中で、弱気にならず、かえって最高のパフォーマンスを発揮することができたのだと思います。

逆境の中で気落ちしていないだろうか

私たちの生活も、「もうダメかもしれない」というピンチや逆境の時があると思います。「苦しいことは、出来るならば避けて通りたい」というのが人の本音だと思います。しかし現実はどうと、次から次へと問題が自分の身に降りかかって来ます。私たちは、それを何とかしないといけないと思って必死になっているかもしれません。プレッシャーで押しつぶされそうになってしまいそうになる時、それに抗(あらが)おうとすればするほど、心はどんどん疲弊して行きます。

私たちの信仰生活は、霊的戦いです。ですから、神様を信じる私たちを神の支配から引き離そうとする見えない敵の働きがあることを忘れてはなりません。悪魔は、私たちの弱さをよく知っていて、責めと誘惑を持って、言葉巧みに語りかけて来ます。「そんなことで心が折れているのか、弱いなあ。クリスチャンとして

係を壊して行くのか、信仰によって愛することを選ぶのかが試されます。そこではじめて私は、自分のことを冷静に見詰めるようになり、悔い改めへと導かれます。信仰がなければ、「私は悪くない。向こうが悪いんだ。」と、関係を壊す方向に向かっていであろうことが、信仰によって愛することを選択し、信仰によって行動を起こすことができるようにされます。

すすんで主からのチャレンジを受けよう

逆境は、主からのチャレンジの機会なので、私たちはいとわないで、すすんで主からのチャレンジを受けてまいりましょう。

主がそのようにされるのは、主が私たちを子どもとして扱っておられるからです。神の子どもである私たちをご自分のきよさにあずからせようとして訓練されるのです。ヘブル12：11には、

「すべての訓練は、そのときは喜ばしいものではなく、かえって苦しく思われるものですが、後になると、これによって鍛えられた人々に、義という平安の実を結ばせます。」とあります。私たちは試練の苦しみの中で、何が神の御心であるのか、何が正しいことであるのかを教えられ、神様との正しい関係を築いていくことができます。そして、平安を持って、日々前進して行くことができます。私たちの信仰は、逆境の中で強められ養われることを主に感謝します。(岩下 栄作)